

明治二十二年二月二十日

## 時事新報

第百九千二百一十八

(英量) 封度 千百二  
英尺) 吻 凡我一尺○ 破  
一尺七寸  
哩 十五寸一尺

横濱港郵便汽船發着  
到着地 出發日 出發地 來着日  
歐洲 船名  
二月十一日  
二月十二日

- 仙臺の十一日 仙臺二月十一日午後特發  
本日朝より豊天攝翠館の祝賀會には官民十四百餘人午報の響きと共に式を舉げ後ち盛んなる宴會を開きたり中心會、奥羽日々新聞社は三ヶ所より於て授餉を爲し當地師團本部にては正午百一發の祝砲を放ち區内の有志は五常館又於て各學校は校内より於て孰れも祝意を表し市中も軒提燈を吊し國旗を翻して十分の祝意を表せり
- 名古屋の十一日 時事新報社の山車 名古屋二月十一日午後特發  
憲法發布祝賀の園遊會は時事新報社名古屋出張所にて兒鶴高徳の大人物の側に櫻樹を白うし「時なれや事新し云々」の俳句を題したる山車を出し且つ時事新報數千枚を衆人に頒與し大喝采を博したり
- 福山の十一日 福山二月十一日午後特發  
本日は快晴にて官民は共々俱樂部に會して祝宴を開きたるが賑はしき事なりし
- 盛岡の十一日 盛岡二月十一日午後特發  
當地の官民有志者は社殿館より於て大典發布の祝宴を開き音樂を奏し電氣燈を點し甚だ賑かあり
- 京都の十一日 京都二月十一日午後特發  
京都及び伏見の賑ひ甚だし
- 佐賀の十一日 佐賀二月十一日午後特發  
官民一同憲法發布祝賀の爲め午前十時より共和館に會するもの千人に上り立食の宴を開き餘興は煙火競馬等の催はしありて市街各郡とも賑かなり又光妙寺に於て左賀改進黨員の大會を開き會するもの二百餘名
- 静岡の十一日 静岡二月十一日正午特發  
本日前雪雨午後二時より晴天となり御開神社拜殿に開きたる宴會は殊に盛んとして八百名の來會者あり又全神社より中學校生徒一同は陛下の萬歳を祝し奉れり
- 濱田の十一日 濱田二月十一日午後特發  
本日晴天、懇親會は集まるもの三百餘名より市街の人氣大いに振へり
- 森岡の十一日 森岡二月十一日正午特發  
憲法發布式を祝する爲め當公園に集りたる者及び學校生徒の旗を建て縣社に會したる者數千人の多さに及べり
- 姫路の十一日 姫路二月十一日午前特發  
本日前雪雨午後二時より晴天となり御開神社拜殿に開きたる宴會は殊に盛んとして八百名の來會者あり又全神社より中學校生徒一同は陛下の萬歳を祝し奉れり
- 青森の十一日 青森二月十一日午後特發  
晴天、縣廳、各學校其他各處に於ての祝賀會は中々盛大にて市中は休業し國旗を掲げて祝意を表したり又縣廳には八十歳以上の者より金鑑を與へたり
- 青森の十一日 青森二月十一日午後特發  
當地の有志者は消防組を先駆とし一大行列を催はせり
- 長野の十一日 長野二月十一日午前特發  
縣官は城山館より市民は長野學校より裁判官は雙玉館より、新聞記者は社内より執務し國旗を掲げて祝意を表したり又青森の旗を揚げ北信民會員も宴會を開き運動會を催す
- 青森の十一日 青森二月十一日午後特發  
當地の有志者は消防組を先駆とし一大行列を催はせり
- 石ノ巻の十一日 石ノ巻二月十一日午後特發  
當地憲法發布祝賀會には來會者三千人餘輕火其他の籠はしありて賑む盛況なり
- 高知の十一日 高知二月十一日午後特發  
当地憲法發布祝賀會には來會者三千人餘輕火其他の籠はしありて賑む盛況なり

天氣好し、縣廳官吏は孰れも參觀して祝賀の式を終

へ午後よりは祝宴を開く舊自由黨員は公園に會して祝意を表し且つ政談演説の催しより午後よりは得月

樓に祝宴を開き板垣伯也臨場する各學校生徒も公園に集る市中の家々には國旗を掲げて祝意を表し頗る賑やかあり

○新潟の十一日 新潟二月十一日午後特發  
午前九時新潟師範學校の生徒は常盤ヶ岡にて祝賀式を爲し同十一時新潟の有志家は神宮より將士に玄關に出て申んとする

舉行し煙火を打上ぐるなど甚だ盛なり警察署員は常盤ヶ岡にて野仕合を催はせり

○福井の十一日 福井二月十一日午後特發  
本日快晴、風月撰より於て官民合同の大祝宴を開き會する者五百餘名にして盛會あり○静岡の十一日 静岡二月十一日午後特發  
唯今(三時)晴天市中賑へり○静岡の十一日 静岡二月十一日正午特發  
降雪頻あり○午後靜岡の天氣 静岡二月十一日午後特發  
只今(午後二時二十五分)晴天となる○大津の十一日 大津二月十一日午前特發  
当地の各町にては租々罷はしもて數ヶ所に官民合

同の祝宴を張り市中の盛況古來未聞にして各郡村に至るも又同様なり

○秋田の十一日 秋田二月十一日午前特發  
市民は樂々抛ちて此盛典を祝し勅使は國幣神社へ参向せり○午後靜岡の天氣 静岡二月十一日午後特發  
只今(午後二時二十五分)晴天となる○大津の十一日 大津二月十一日午前特發  
唯今(三時)晴天市中賑へり○静岡の十一日 静岡二月十一日正午特發  
降雪頻あり○午後靜岡の天氣 静岡二月十一日午後特發  
只今(午後二時二十五分)晴天となる○大津の十一日 大津二月十一日午前特發  
唯今(三時)晴天市中賑へり○静岡の十一日 静岡二月十一日正午特發  
降雪頻あり

森文部大臣は昨十一日憲法發布の慶典に付き朝第八時の頃参朝の裝ひして居室より將士に玄關に出て申んとする

臣の疵は小腹の邊にして専ら治療最中ありと云ふ抑も

か未だ詳ならざれども昨日は是れ我大日本帝國古來未

曾有の祝日あるに拘りも折りとて斯る不祥の傳聞よ接

するとは大臣の爲めよ悲しむのみならず恰も國家萬歳

在景の悪む可きは固より言ふとでもなきふ。ながら其

狂暴が我聖天子の盛典よ間接にも無縫なりとすれば大

不幸の中より尙ほ強ひて人意を慰むるよ足る可きか左

れば昨日の盛典は眞實完全の盛典にして日本國中一物

の之を汚すものなく又害するものなし我輩は唯大臣の

一身に就て之を悲しみ幸よ其負傷の輕くして一日も速

に平常よ復し自出度く改めて參朝あらんとを祈るのみ

に於て此の萬歳を祝して不愉快に堪へざる次

關係の在景よして即ち昨日の盛典には縁なきものなり

在景の悪む可きは固より言ふとでもなきふ。ながら其

狂暴が我聖天子の盛典よ間接にも無縫なりとすれば大

不幸の中より専ら治療最中ありと云ふ抑も

か未だ詳ならざれども昨日は是れ我大日本帝國古來未

曾有の祝日あるに拘りも折りとて斯る不祥の傳聞よ接

するとは大臣の爲めよ悲しむのみならず恰も國家萬歳

在景の悪む可きは固より言ふとでもなきふ。ながら其

狂暴が我聖天子の盛典よ間接にも無縫なりとすれば大

不幸の中より専ら治療最中ありと云ふ抑も

か未だ詳ならざれども昨日は是れ我大日本帝國古來未

時事新報

萬世橋を